



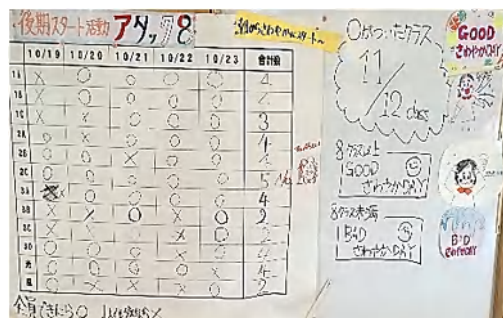
11月13日（金）

# IV期まとめの生徒集会

IV期は10月12日から11月13日までの約1ヶ月間。「つなぎ高める—前期役割を引き継ぎ、仲間と共に、活動を高める—」を目標に、生活委員会と図書委員会が重点委員会となって取り組みました。

スタート活動では、全員そろって気持ちよく一日をスタートさせたいという思いから「アタック8」とネーミングされた取り組みをスタートさせました。

朝8時からの朝読書を全員で取り組むことに課題があった北中ですが、一人一人の意識の向上、仲間からの励ましや働きかけがあって、徐々に成果があらわれてきました。学級という組織、仲間という存在を改めて考えることができました。



図書委員会 IV期  
読書時間の充実  
朝読書・食後読書の意識の向上  
開始時間・私語なし・集中

図書委員会は、朝読書や配膳読書の充実に取り組みました。生活委員会は、言葉遣いについての意識の向上について取り組みました。読書も言葉遣いも、「できるか、できないか」ではなく、「やるか、やらないか」です。

力の問題ではなく、意識の問題だと言えるでしょう。

どちらも取り組んだ成果は確実に見られました。生徒たちが、自分たちの生活を、自分たちの手で改善することは「自治の力」と言えます。問題は、取り組みが終わっても、よい状態を維持していくことです。

集会の後半では、「仲間に応える」「仲間と共に」の部分がV期の課題であると示されました。「姿で魅せる」のV期にも期待がかかります。

4期生活委員  
「言葉遣いの向上」

## 「言葉について

## 考えるWEEK」の実施

- 場面1: ワークを先生に提出するため、職員室のカウンターから先生を呼びたい。何て声をかければよいか？
- 場面2: 休み時間、教室で仲の良い友達との会話をの中で、友達に向かって「バカ」「きもっ」「きえろ」と言った。友達同士ならいい？ それともダメ？
- 場面3: 学校に登校中、または登校したら先生に会ったので「うーすっ！」「ぎっす！」と元気に大きな声であいさつをした。良いあいさつ？ それとも良くないあいさつ？